

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 23 No 7

264号

平成27年 7月 5日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

「あいチャン!!」3分朗読

院長

ちょっと、おかしな題名と思った人が、ほとんどだと思います。静岡第一テレビ(日本テレビ系)には、「あいチャン!!」という情報生番組があり、水曜日企画に「あいチャン!!3分朗読」があります。内容は“ 慌しい朝の喧騒から放たれほっと一息する女性の皆さまに送る心温まる朗読コーナーで、朗読はアナウンサーが担当しています。”とのことです。

6月5日の診療中、突然静岡第一テレビの報道部から電話がありました。用件はと尋ねると、“「あいチャン!!」の朗読コーナーのネタを探しています。放送日が6月10日の“時の記念日”なので、相応しいものをネットで検索していたところ、かわむらこどもクリニック CLINIC NEWS 2014年4月号にたどり着きました。「東日本大震災から3年-止まったままの時計-」は東日本大震災を伝える意味と、サブタイトル(止まったままの時計)は時の記念日の朗読材料としては、まさに願ってもないものと判断しました。是非、その詩を朗読させていただきたいと思います。”と。

まさに、びっくり仰天です。確かに CLINIC NEWS では、3年目を迎えた震災への思いを記事にしました。1年も前の、それもたかが小児科診療所の新聞を探した記者の熱意と、テレビで朗読するとの評価に驚きを隠せませんでした。記事にもかかわらず、詩の朗読といわれたことが、さらなる興奮の理由になりました。嬉しすぎて、スタッフに勢いあまって伝えたことも思い出されます。その後のやり取りで、震災関連の写真、顔写真まで使いたいとともに、次のうれしいメールをもらいました。“川村先生のように、日本を担う子供たち、震災の復興に尽力されている方をご紹介させて頂くことができ、私としまして大変光栄に思います。朗読のほかに前後を含めて時間はおよそ5分、全ては難しいかと思いますが...時間の限り目一杯ご紹介させて頂きます。”

実際の朗読内容を抜粋します。「止まったままの時計 2014年3月11日で、東日本大震災から3年を迎えました。14:46 予防接種の最中に、突然の轟音と、とてつもない大きな揺れ。患者さんたちの大きな悲鳴が飛び交いました。私は、病院にいた4組の患者さん家族、そして病院スタッフともども抱きあいながら揺れが収まるのを、ただ待つ状況でした。今でも思い出

すだけで、ぞっとする思いです。地震の特徴は何と言っても、その長さ。私の病院のある仙台市では3分程度の大きな揺れが続きました。やっとのこと地震の揺れが収まり、予防接種に

来ていた患者さんとともに、笑顔でピースサインの写真を撮ったことを思い出します。しかしその裏で、想像もできないような津波が押し寄せてくることを知る由もありませんでした。停電だけでなく、情報が遮断され、時に車のテレビを通して流れてくる被災の状況を見るたびに、現実とは思えない不思議な感覚とともに涙が溢れるばかりでした。(中略)遠目には何もないように見える風景も、近付いてみる草に隠れたコンクリートの土台、そして子どもたちの笑い声が聞こえない小学校、慰霊塔に供えられたおもちゃ、悲しみを宿した深い爪痕が隠れています。海から吹いてくる風でさえ、悲しみと怒りをまとっているように感じて、日和山からの風景は見るたびに目頭が熱くなります。(中略)被災地はどこも、2011.3.11からの時間が止まっているようでした。何もできないという思いの人もたくさんいるでしょう。でも何もしなくてもいい。何もできなくても大丈夫です。被災者のことを考えるだけ、思うだけ、そして“忘れないこと”が最も大事な復興支援となると信じています。」

その後、放映されたDVDが届きました。“時間の限り目一杯”のメールのように5分を超え、最後は「大災害を忘れないことが大切なんだ。時の記念日に改めて思い起こしたいですね」とのコメントで結ばれています。

当たり前のことを記事にしましたが、アナウンサーによる朗読を聞くだけで、改めて震災の記憶が呼び起こされ目頭が熱くなるのを感じました。番組の評価というほどではありませんが、見ていた新人スタッフの涙が全てを物語っているようでした。

院長は情報発信をLifeWorkにして、最初に取り組んだ院内報も23年目を迎えました。そのような意味でも、今回仙台ではなく静岡のテレビで取り上げられたということは、自分にとっても大きな意味を持つことになりました。まさに座右の銘である「継続は力なり」の証明です。時の記念日に合わせて“止まったままの時計”を探してくれた静岡第一テレビに本当に感謝しています。

番組に関しては、近日常に待合室で流す予定です。是非、2014年4月号の記事も読んでみてください。



7月のお知らせ

・栄養育児相談

8、22日(水) 13:30~

栄養士担当 参加無料

・診療時間変更

10日 社会福祉審議会(虐待)

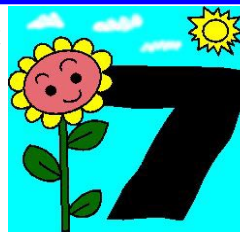
14日 就学支援委員会

診療時間に変更があります。

『がんばろう! 宮城 がんばろう! 日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

先月は10通のメールを頂きました。まずは先月掲載できなかった大和町の吉田さんからの便秘の相談メール「いつもメルマガありがとうございます。昨年夏、娘が突発だった時、お世話になりました。娘は1歳半になりました。毎日元気に、口も達者です！ただ、うんちが硬めで、ツブツブがここ一ヶ月くらい続いて、出ない日もあって。うんちばかり気になっている母です(´。`；市販のこども整調薬を飲ませたり、ヨーグルトを毎日食べたり、食べ物には気をつけているのですが、今日はお出なくて3日め...もともと便秘気味だったので、あまり気にしてはなかったのですが、最近赤ちゃんの腸閉塞みたいな病気もあることを知って、気になってしまって。何が原因なのでしょうが...。また、どうしたら良いのでしょうか？」。確かに便秘というのは、悩み相談事では結構多いものです。理解してもらうために次のように返事をしました。「まず便秘と便秘症の区別をしましょう。毎日でないのが便秘、便秘によって症状がでるものが便秘症です。便秘症の症状には、腹痛、食欲不振、腹部の不快感などがあります。逆に言えば症状がなければ、病気とはしません。大人でもその人のリズムが2～3日に1回出て、生活への悪影響がなければ治療の必要はありません。1ヶ月でにくいのが続いています。生活に変わりなければ問題はないでしょう。便秘の原因のほとんどは体質によるものです。大腸の動きかが悪ければ、水分が吸収され固くなってしまいます。テレビの便秘薬のコマーシャルで、女性がでてきて、水分、運動、野菜でダメならば、便秘薬というものがあります。水分、運動、野菜で治るなら、便秘薬は売れないはず。ということで悪影響が無ければ3～4日で1回でも構いません。それが当人のリズムというものです。1週間以上出ないことが続き浣腸が必要になれば、緩下剤(便を柔らかくする薬)を使うこともあります。今のままであれば、様子を見ていいと思います。」すると早速お礼のメールが。「先生、返信ありがとうございます(T_T)メールした日にうんちが出て、それからは出ています！今日はひさびさに適度な柔らかさでした！って、うんちネタですみません。私たち両親が毎日出るので、娘が出ないと心配で...旦那は様子見ようって言うてくれますが、私が心配しすぎてしまいます。保育士してたのに、我が子となると心配ばかりでなんだか情けなくなります(笑)。本人は出なくてもお腹も張ってないし、普通通りで。出すときにけっこう頑張る感じですが、病気までいかないんですね！安心しました。近くのかかりつけの先生には、食べ物で頑張るって！と言われたので、私が悪かったのかなあとちょっと不安になってました。本人のリズムと様子を見ながら、いきたいと思います。また困ったときにメール&通院させていただきます。ありがとうございます。」30km離れているのでかかりつけとは言えませんが、一度かかりメルマガも楽しみにしているのはうれしいことです。親の安心が一番の薬かもしれません。保育士だから冷静になれるものではなく、我が子だから不安が強くなるのです。少しずつ勉強していけばいいだけです。安心してください。



続いては、泉区の浦〇さんから入院報告メール。「先日はどうもありがとうございました。子供病院に入院して、日に日によくなってきています。診断は肺炎になる手前の気管支炎でした。食欲も戻ってきたので、セロセロがよくなれば退院できそうです。今回も先生の的確、迅速な判断で、入院を手配していただき、大事に至らず本当にありがとうございました。二度も助けていただき、感謝しています。私も今回、しばらく咳があったのに、もっと早く小児科に行かなかったことを後悔しています。母として本当に至らずすみません。〇〇は気管支が弱いみたいなので、細心の注意をしないとダメだと反省しています。今後はとにかく子供の体調優先に少しでも何かあれば、先生のところ伺うようしたいと思います。今後もお世話かけますが、よろしく願いいたします。取り急ぎお礼まで。また良くなったら、換診に伺いますが、まずは大事に至らなかったことを喜びましょう。人は誰でも、経験を通してしか学べないことがあり、その経験を活かすことが大事なことです」。このようなメールをもらえることが、まさに理念「お母さんの不安・心配の解消」の証明です。

Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、500人を越えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

その他の情報発信として **Twitter**、**Blog**「子どもクリニック四方山話」、**Facebook** ページ、**YouTube** にも取り組んでいます。最近ちょっと更新できていませんが、Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付までお問い合わせ下さい。



MailNews



Twitter



Facebook



Blog

編集後記

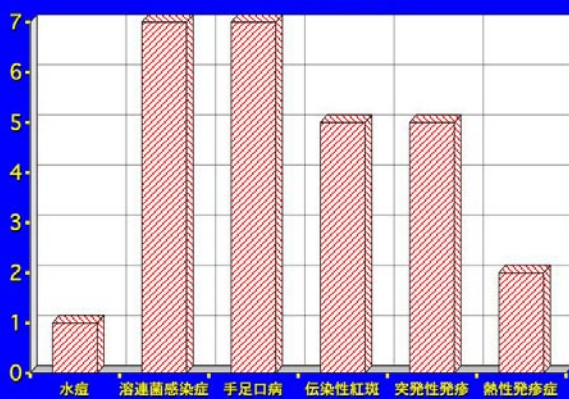
スペースの関係で載せられませんでした。が、MAILNEWSでお知らせしたように宮城県子育て支援課広報誌が創刊され、院長が掲載されています。是非、みてください。

7月1日から「児童相談所全国共通ダイヤル 189」が始まりました。189の由来は、「いちはやく」です。児童虐待があつとを絶ちません。虐待の通告だけでなく、子育て不安にも利用できます。



K's clinic

6月の感染症の集計



全国的に増えているのに合わせて、溶連菌感染症が目立っています。今年は暑いせいか、夏カゼとして知られる手足口病が出てきました。首都圏を中心に流行している伝染性紅斑(りんご病)もあります。昨年ほど流行はみられていません。

グラフに示していませんが、感染性胃腸炎相変わらず多くみられています。

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』 『お母さんクラブ』 現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！